



輝け！北っ子！

北っ子のがんばりにみんなで拍手 ～症状伝達～

第2学期の始業式、学校に届いた賞状の伝達を行いました。
+αの行動が結果に結びついたものと考えます。
おめでとうございます。

【第66回たなばた展】

銀河賞 1年 大友 仁菜 3年 月舘 蓮
奨励賞 4年 齋藤 莉央

※特選・金賞・銀賞については各学級で渡してもらいました。



親子で一緒に取り組む家庭学習

～新型コロナウイルス感染症について考える～

1学期末に協力をお願いした「親子で取り組む家庭学習新型コロナウイルス感染症をめぐって」への取り組みありがとうございました。お忙しい中でのご協力に感謝申し上げます。感想をいくつか紹介させていただきます。

○コロナに関係なく、人の噂話、憶測での話で人を傷つけることがあるので気をつけるように話しました。子どもが「具合の悪い子が一番つらいんだよね」と言ったところに感心しました。自分がその場に立った時のことを考えられる人になってくれたらいいなと思いました。

(1年保護者)

○子どもなりに差別や誹謗中傷をしてはいけないとわかっていて、親の方が見習わないといけない部分があると思いました。

(2年保護者)

○大人は連絡ツールがありすぎて、噂話があちこちであったように思います。子どもに「誰がなったか気になったりしなかった？」と聞くと「全然気にならなかったよ」という言葉が返ってきました。・・・噂に振り回されず素直に育ってほしいです。

(3年保護者)

○人に優しく接することができ、困っている時に気遣いができ、信じ、信じられる生き方、徳のある子どもたちに学校・家庭・地域が一丸となって育てる必要があるとあらためて感じる事ができた。

(4年保護者)

○実際、北小であったことだけに読んだときは悲しい気持ちになりました。子どもたちは「誰か」なんて考えもせず、コロナに怒っていて、学校に行けたときはみんなに会えることを心から喜んでいました。がんばっている子どもたちのためにも大人が気をつけてあげる必要があると思いました。

(5年保護者)

○仲のよい友達や家族が感染したら本当に正しい行動ができるのか、きちんとした知識を身につけ、相手を傷つけない行動ができるよう一緒に考えるよい機会でした。

(6年保護者)



新型コロナウイルス感染症拡大に伴う学校の対応

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、これまでの3密回避、換気、消毒、黙食等基本的な対応の徹底・継続の他、以下のような対応策をとっています。ご理解の程よろしくお願ひします。

○感染リスクの高い活動の停止（調理実習、接触の多い運動、近距離・向かい合っの活動等）

○業間時間の分散（通常2校時終わりの後の長い休み時間を学年ごとに分散して密を回避）

○歯磨きの停止（歯磨き時の飛沫感染防止）

○縦割り活動・交流の制限（清掃は学級単位で実施、他の学級等との交流は最小限に）等

なんとと言っても、学校という集団の中では「感染源を持ち込まない」ことにつきます。登校時の児童の健康観察はもちろん、ご家族の健康状態についても十分把握の上、登校させていただきたいと思ひます。